

I. 転倒災害を防止するための「見える化」

当支店は賃貸ビル2フロアーに分かれており、来客打合せ、会議等でエレベーターや階段を利用する機会が多くあります。賃貸ビルのため転倒災害防止対策としてよく活用されている「段差の見える化」でのノンスリップの色替え等が出来ないので『段差まで、あと5cm』表示を付けてみたところ、利用する社員から

『7階まで、あと5段』『7階まで、あと3段』『7階まで、あと1段』カウントダウン表示があれば階段が嫌いなメタボさんや徒歩のエレベーター乗りさんに後ろから「あと5段です。頑張れ。!!」「あと1段。到着。!!」と応援しやすいとの声で表示してみたところ……。

↓. 提案後の「7階まで、あと3段」
「7階まで、あと1段」カウントダウン表示



↑. 最初の「段差まで、あと5cm」表示



↑. 提案後の「7階まで、あと5段」表示拡大

転倒災害を防止するため「見える化」効果と

「息切れ階段」「頑張れ階段」効果で

エレベーター乗りが減り階段利用率が上がり、メタボ解消にも一役かっているはず